

協働のまちづくり市民会議 × 熟議2024

テーマ 若者が政治に関心をもつためには

若者の政治に対する関心の低下は、その低い投票率に顕著に表れています。平成28年度に投票できる年齢を引き下げたものの、これに歯止めはかかっていません。一方で、若者の投票率の低さは先進国にみられる課題であり、また90年代半ば以降、国内の投票率は若者に限らず低下をしています。こうした事情も踏まえ、若者が政治に関心をもつために必要なことを「協働のまちづくり市民会議×熟議2024」にて、熟慮し議論をいたしましょう。



開催日 2024年 7月 13日(土) 10:30~16:00

※集合時間は10:00です。



会場 兵庫大学 17号館 407教室

加古川市平岡町新在家2301(最寄駅 東加古川駅)



参加対象者: 無作為抽出にて選ばれた加古川市民。
県内の高校生と兵庫大学生・短期大学生。



参加要件: 7月13日(土)の熟議当日、6月22日(土)の熟慮
講演会の両方に参加が可能な方。



参加費: 無料です。昼食、お飲物を用意します。



主催: 兵庫大学・兵庫大学短期大学部/加古川市

「協働のまちづくり市民会議×熟議2024」について

平成31（2019）年3月に加古川市は「加古川市協働のまちづくり基本方針」を策定、あらゆる機会を通して、市民との協働を促進してきました。そのためには市民とともに課題を発見し、解決に向け議論をすることが重要になります。加古川市は、兵庫大学・兵庫大学短期大学部が平成24（2012）年度から継続してきた「熟議」の方法を採用し、加古川市、及び兵庫大学の双方が主催する「協働のまちづくり市民会議×熟議」を平成31（2019）年度から開始、今回で5回目となります（令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）。

熟議とは熟慮し議論することです。自分たちの住む地域の課題を熟慮し、意見を持ち寄って議論の中で、社会的な重要度を見出し、解決策を築いていきます。それを共有することで、市と協働し市民自らが解決の役割を果たすことができるようになります。

「協働のまちづくり市民会議×熟議2024」は、協働のまちづくりの一環であり、またシティズンシップ（市民資格）教育に立脚する熟議は、参加する市民や学生たちの地域への誇りを喚起し、まちづくりへの参加意欲を高めることにつながります。このことは主権者教育にも資するといえます。その一歩を一緒に踏み出してみませんか。

◆ JR 東加古川駅北口から兵庫大学のスクールバスをご利用いただけます。

◆ 駐車場、駐輪場をご用意しております。

■ お問い合わせ先

加古川市市民協働部市民活動推進課（下城）
〒675-0065 加古川市加古川町篠原町21-8
カピル21ビル5階 TEL：079-427-9764

【協働のまちづくり市民会議×熟議2024の流れ】

兵庫大学の熟議手法には、下記の図のように5つの段階があります。



以下、それぞれの段階の説明を致します。

①熟慮

1. 熟慮講演会

日時：6月22日(土)13:00～15:10

会場：兵庫大学5号館401教室

演題：選挙と投票の本旨～政治と向き合うために～
講師：高橋勝也先生（名古屋経済大学法学部教授）

2. 熟慮課題への取り組み

テーマの「若者が政治に関心をもつためには」を話し合うため、関連した「熟慮課題」を示します。講演会を聞き課題について完成させて提出をしてください。詳細は熟慮講演会にてお伝えします。

②議論

日時：7月13日(土)10:30～16:00

会場：兵庫大学17号館407教室

課題について、市民、高校生、大学生の5～6人のグループに分かれ議論をします（ワークショップ）。議論の進行はファシリテーターがお手伝いをします。熟慮したことを発揮し議論を楽しんでください。

③共有

各グループでの議論の成果を発表します。当日は、岡田康裕加古川市長より講評を頂く予定です。加古川市も「政策提案」として成果を共有します。

④振り返り

「協働のまちづくり市民会議×熟議2024」の進め方と議論で出された成果の評価のためアンケート調査や投票を行います。討議型世論調査の一環で評価を踏まえより良い政策を選ぶ参考とします。

⑤活動

それぞれの立場で共に活動しましょう。加古川市は提案を磨き、政策として実施に移します。兵庫大学は個人の取組みと市の政策実施にあたって、今後とも後押しをいたします。

「協働のまちづくり市民会議×熟議2024」の詳細等は、下URL(右QRコード)の熟議公式ホームページをご覧ください。(QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。)

<https://www.hyogo-dai.ac.jp/jukugi/>

